

KAN
MON
KAN

平成21年11月期
決算説明会



玄品グループ
株式会社 関門海

<http://www.kanmonkai.co.jp>

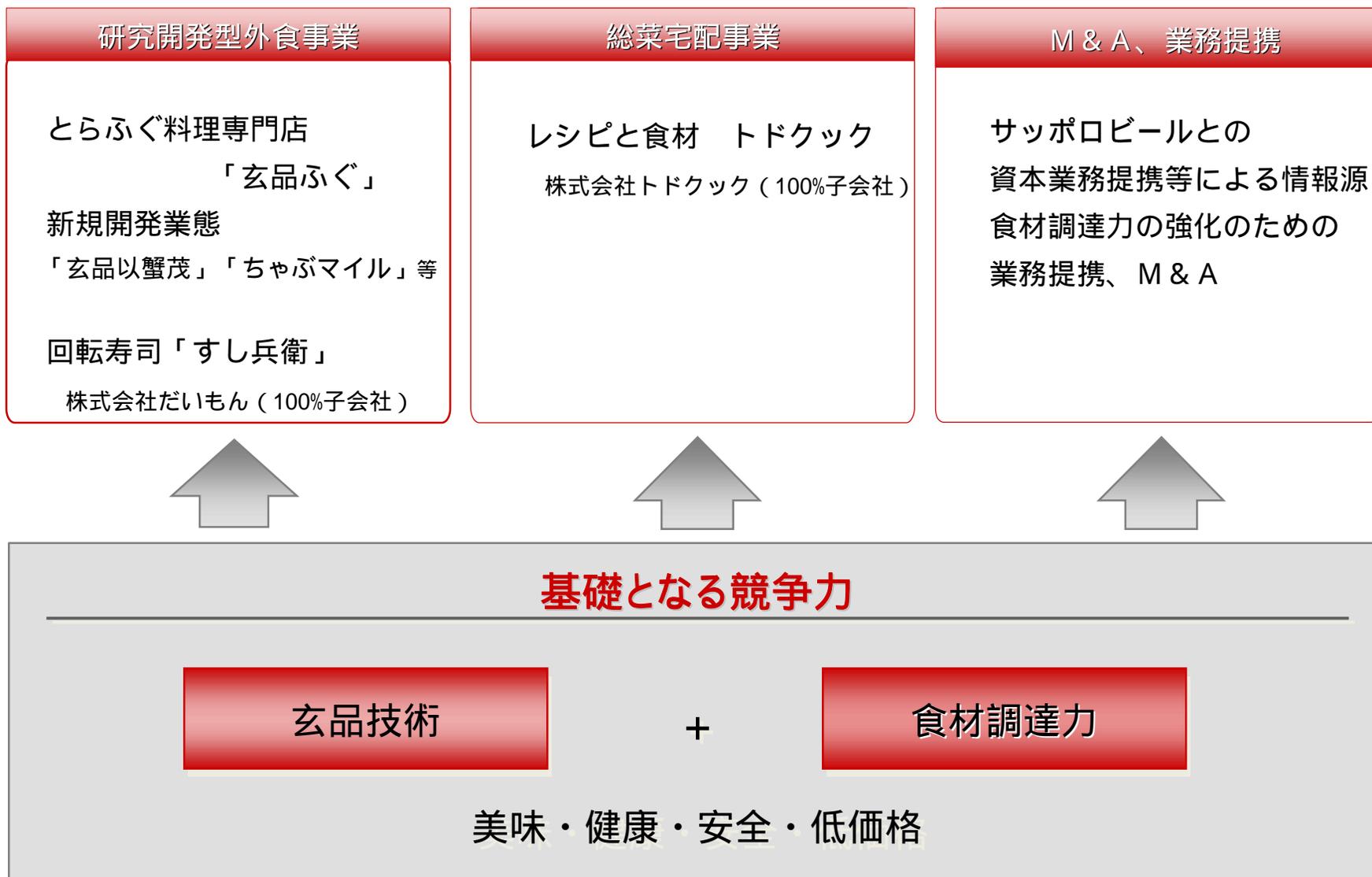
会社概要 / 玄品グループ

Company Summary

商 号	株式会社 関門海 KANMONKAI Co.,Ltd.
設 立	平成元年 5月
代 表 者	代表取締役会長兼社長 グループCEO 谷間 真
子 会 社	株式会社トドクック 株式会社だいもん 株式会社富士水産 有限会社しまや酒店の保有株式の90%を平成21年6月30日付で譲渡いたしました。
事業内容 (セグメント)	<ul style="list-style-type: none">・研究開発型外食事業・総菜宅配事業・食材卸その他の事業
従 業 員	212名(445名) ()内はグループ従業員数
店 舗 数	グループ全体：145店舗(期末日現在) ・玄品ふぐ：118店舗 ・その他：27店舗
資 本 金	3億2,406万円(平成21年11月末日現在)

ビジネスモデル

Business Model



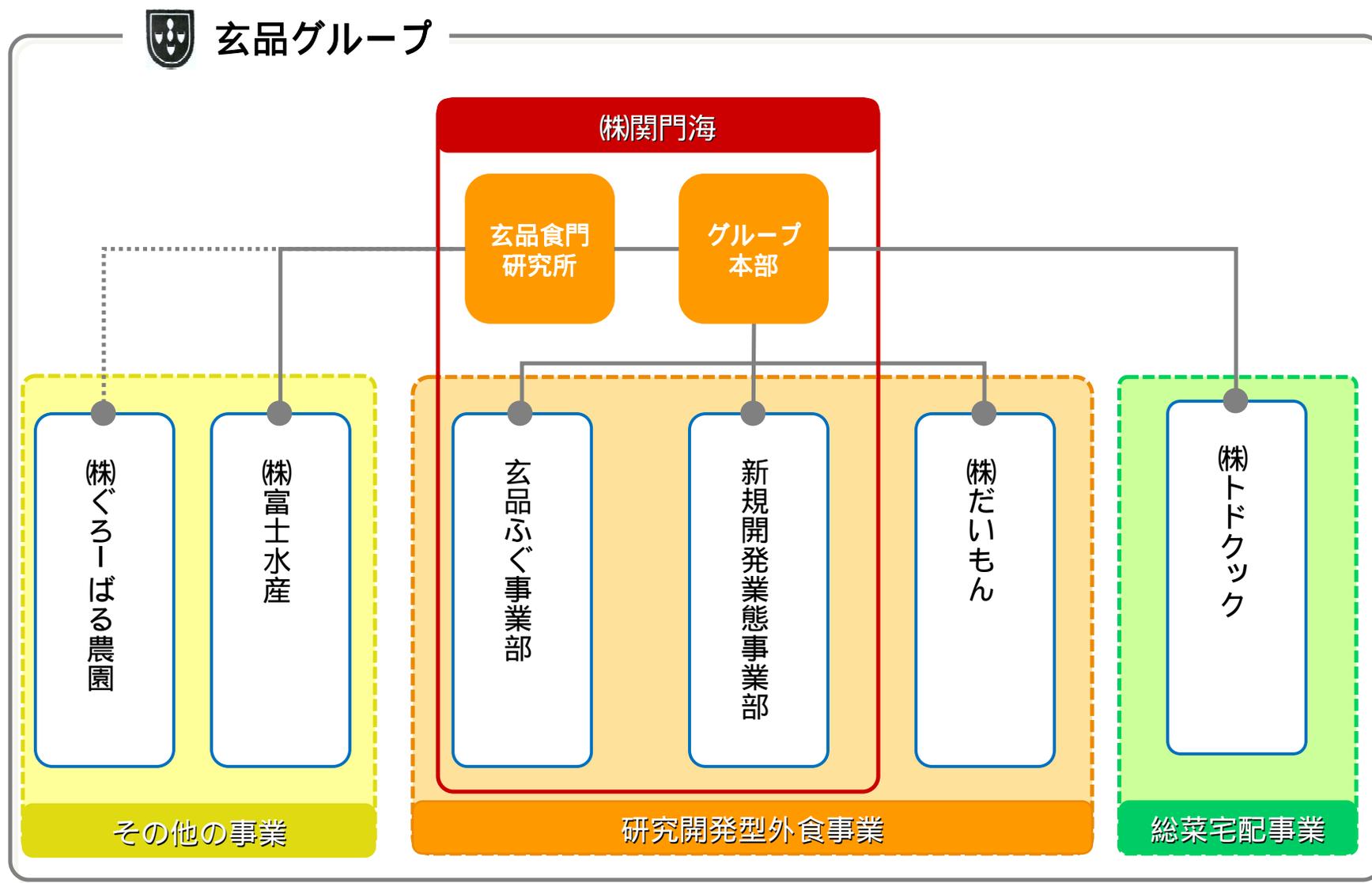
トピックス

Topics



グループ図

Group





平成21年11月期 決算概要

平成22年11月期 計画

決算概要 / 損益計算書

Accounting Outline

(単位：百万円)

	平成21年11月期 (実績)		平成20年11月期 (実績)		平成21年11月期 (計画)		増減	
	金額	百分比	金額	百分比	金額	百分比	前年比	計画比
売上高	10,816	100.0%	11,313	100.0%	11,300	100.0%	4.4%	4.3%
研究開発型外食事業	6,771	62.6%	7,393	65.3%	7,100	62.8%	8.4%	4.6%
総菜宅配事業	3,639	33.6%	3,742	33.1%	3,850	34.1%	2.7%	5.5%
その他の事業	405	3.8%	178	1.6%	350	3.1%	127.0%	15.8%
売上原価	4,387	40.6%	4,219	37.3%	4,600	40.7%	4.0%	4.6%
売上総利益	6,429	59.4%	7,094	62.7%	6,700	59.3%	9.4%	4.0%
販売費及び一般管理費	6,299	58.2%	6,655	58.8%	6,360	56.3%	5.4%	1.0%
営業利益	130	1.2%	438	3.9%	340	3.0%	70.3%	61.7%
営業外収益	32	0.3%	35	0.3%	35	0.3%	9.3%	8.0%
営業外費用	112	1.0%	99	0.9%	110	1.0%	12.7%	2.3%
経常利益	49	0.5%	374	3.3%	265	2.3%	86.7%	81.2%
特別利益	17	0.2%	134	1.2%	—	—	87.1%	—
特別損失	128	1.2%	166	1.5%	110	1.0%	23.1%	16.4%
税金等調整前当期純利益	60	0.6%	342	3.0%	155	1.4%	117.8%	139.3%
法人税等	90	0.8%	186	1.6%	70	0.6%	51.3%	29.7%
当期純利益	151	1.4%	155	1.4%	85	0.8%	197.2%	278.4%

1 連結売上高

- ・前年比 4.4%
- ・計画比 4.3%

研究開発型外食事業は既存店売上高15.1%の減少が要因

総菜宅配事業は新規顧客開拓の不振が要因

2 売上総利益率

- ・前年比 3.3ポイント
- ・計画比 +0.1ポイントと計画通り

FC店舗の増加、総菜宅配事業、その他の事業の構成比の上昇が要因

3 販売費及び一般管理費

- ・前年比 356百万円
- ・計画比 61百万円

総菜宅配事業の統合、直営店舗のFC化等による減少

4 特別損失

- ・店舗閉鎖損失52百万円
- ・営業所閉鎖損失23百万円
- ・減損損失47百万円等

5 法人税等

- ・過年度法人税等116百万円
- ・法人税等調整額 54百万円

決算概要 / セグメント別

Accounting Outline

(単位：百万円)

	平成21年11月期 (実績)		平成21年11月期 (計画)		計画比増減		平成20年11月期 (実績)	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
研究開発型外食事業	6,771	529	7,100	705	4.6%	24.9%	7,393	1,029
玄品ふぐ事業	4,796	538	5,000	660	4.1%	18.4%	5,656	893
その他業態	1,974	8	2,100	45	6.0%	-	1,479	60
店舗譲渡による収益	-	-	-	-	-	-	257	196
総菜宅配事業	3,639	3	3,850	20	5.5%	-	3,742	171
その他の事業	405	23	350	35	15.8%	33.1%	178	25
合 計	10,816	549	11,300	760	4.3%	27.7%	11,313	883
全社共通費用・消去	-	419	-	420	-	0.2%		444
連 結	10,816	130,131	11,300	340	4.3%	61.7%	11,313	438

1 研究開発型外食事業

玄品ふぐ

- ・売上高は、既存店売上高の15.4%減少が主な要因
- ・営業利益は、売上高減少により計画比 121百万円

その他の業態

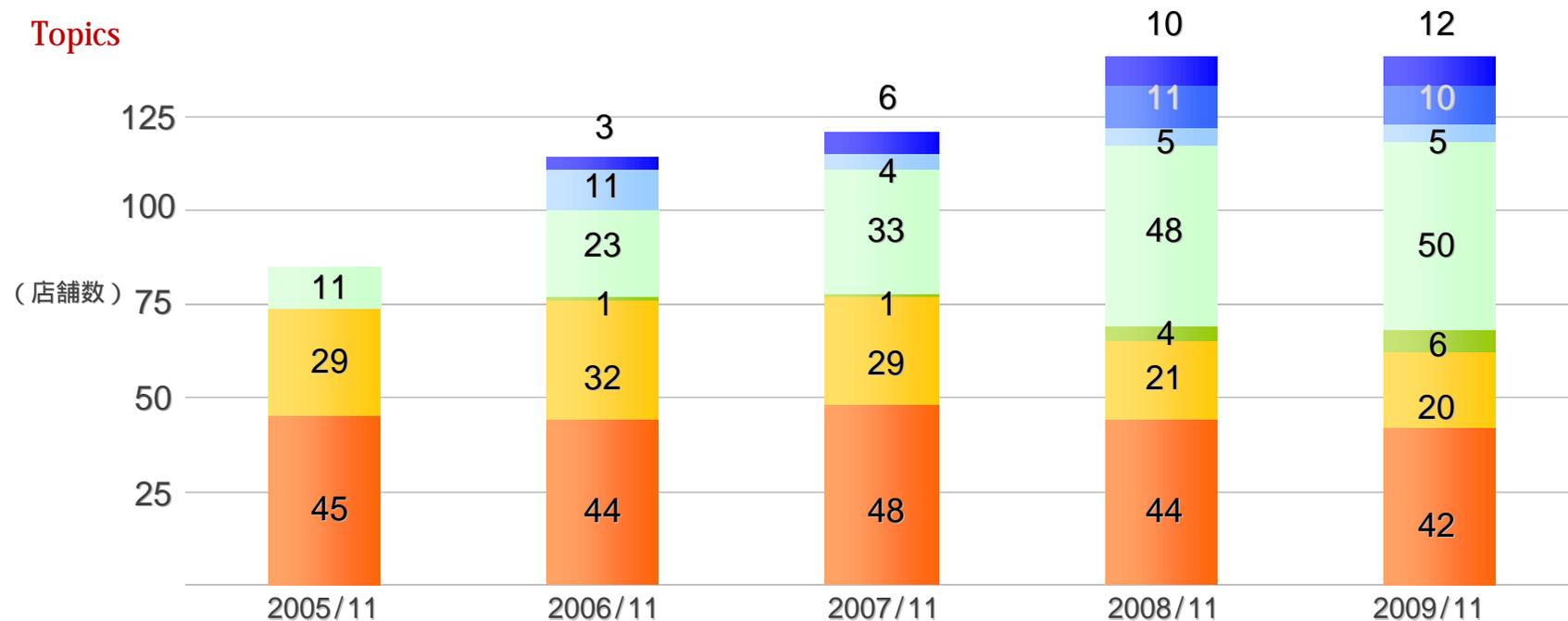
- ・売上高の未達は、回転寿司「すし兵衛」の業績不振が要因
- ・営業損失 8 百万円を計上

2 総菜宅配事業

- ・統合によるコストダウンにより損失は 3 百万に圧縮

トピックス / 店舗推移グラフ

Topics



項目	2005/11	2006/11	2007/11	2008/11	2009/11	前期末比
玄品ふぐ	85	100	111	117	118	+1
関東直営	45	44	48	44	42	2
関西直営	29	32	29	21	20	1
その他直営		1	1	4	6	+2
F C	11	23	33	48	50	+2
玄品以蟹茂		11	4	5	5	±0
すし兵衛				11	10	1
その他		3	6	10	12	+2
合計	85	114	121	143	145	+2

決算概要 / 貸借対照表

Accounting Outline

(単位：百万円)

	平成21年11月期末		平成20年11月期末		増 減
	金 額	構成比	金 額	構成比	
流動資産	4,202	49.8%	4,431	48.5%	228
現金及び預金	1,063	12.6%	1,145	12.5%	82
売掛金	614	7.3%	552	6.0%	61
商品及び製品	1,881	22.3%	2,061	22.6%	179
仕掛品	161	1.9%	160	1.8%	1
原材料及び貯蔵品	142	1.7%	62	0.7%	79
その他	368	4.4%	466	5.1%	98
貸倒引当金	28	0.3%	18	0.2%	10
固定資産	4,233	50.2%	4,706	51.5%	472
有形固定資産	2,460	29.2%	2,806	30.7%	346
建物及び構築物	1,699	20.1%	1,951	21.4%	252
機械装置及び運搬具	97	1.2%	83	0.9%	13
土地	462	5.5%	462	5.1%	0
その他	200	2.4%	308	3.4%	107
無形固定資産	602	7.1%	675	7.4%	72
のれん	503	6.0%	574	6.3%	71
その他	99	1.2%	100	1.1%	1
投資その他の資産	1,170	13.9%	1,224	13.4%	53
資産合計	8,436	100.0%	9,137	100.0%	701

1 商品及び製品 1,881百万円

主に「玄品ふぐ」で使用する
とらふぐを計上

在庫消化、在庫投資の圧縮
により179百万円の減少

2 有形固定資産2,460百万円

減価償却、減損損失等
により346百万円の減少

決算概要 / 貸借対照表

Accounting Outline

(単位：百万円)

	平成21年11月期末		平成20年11月期末		増 減
	金 額	構成比	金 額	構成比	
流動負債	4,193	49.7%	4,415	48.3%	222
支払手形及び買掛金	301	3.6%	491	5.4%	190
短期借入金	1,693	20.1%	1,450	15.9%	242
1年以内返済予定長期借入金	1,591	18.9%	1,241	13.6%	350
未払金	473	5.6%	679	7.4%	205
未払法人税等	35	0.4%	194	2.1%	158
未払消費税等	3	0.0%	111	1.2%	108
賞与引当金	—	—	23	0.3%	23
その他流動負債	94	1.1%	223	2.4%	128
固定負債	3,195	37.9%	3,315	36.3%	119
長期借入金	2,939	34.8%	3,035	33.2%	95
その他固定負債	255	3.0%	280	3.1%	24
負債合計	7,388	87.6%	7,731	84.6%	342
純資産	1,047	12.4%	1,406	15.4%	358
資本金	324	3.8%	323	3.5%	0
資本剰余金	433	5.1%	432	4.7%	0
利益剰余金	555	6.6%	827	9.1%	272
自己株式	287	3.4%	187	2.0%	100
その他	23	0.3%	9	0.1%	14
負債・純資産合計	8,436	100.0%	9,137	100.0%	701
有利子負債	6,224	73.8%	5,766	62.7%	457

1 有利子負債 6,224百万円

営業CFマイナスとなったため457百万円増加

2 自己株式 287百万円

既存株主からの買取により100百万円増加

決算概要 / キャッシュ・フロー計算書

Accounting Outline

(単位：百万円)

	平成21年11月期	平成20年11月期	増減額
営業活動によるキャッシュ・フロー	288	857	1,146
税金等調整前当期純損益	60	342	403
減価償却費	420	505	85
たな卸資産の増減額	88	143	231
仕入債務の増減額	145	190	44
未払金の増減額	204	157	46
長期前受収益の増減額	54	187	242
法人税等の支払額及び還付額	372	37	334
その他	41	351	309
投資活動によるキャッシュ・フロー	111	844	732
有形固定資産の取得による支出	169	340	171
有形固定資産の売却による収入	91	1	90
関係会社株式の取得による支出	1	420	419
差入保証金の回収による収入	110	50	60
その他	143	134	9
財務活動によるキャッシュ・フロー	370	185	185
短期借入金の増減額	242	302	59
長期借入金の増減額	341	128	213
自己株式の取得による支出	101	187	85
配当金の支払額	118	61	57
その他	6	3	2
現金及び現金同等物の増減額	29	198	227
現金及び現金同等物の期首残高	1,092	894	198
現金及び現金同等物の期末残高	1,063	1,092	29

1 営業活動によるキャッシュ・フロー 288百万円 (前年比 1,146百万円)

税金等調整前当期純利益の減少
403百万円

長期前受収益の増減額 242百万円

法人税等の支払額 334百万円

2 投資活動によるキャッシュ・フロー 111百万円 (前年は 844百万円)

新規出店、養殖設備等による有形固定
資産の取得による支出 169百万円

有形固定資産の売却による収入 91百万円

差入保証金の回収による収入 110百万円

3 財務活動によるキャッシュ・フロー 370百万円 (前年は185百万円)

借入金の増加 584百万円

自己株式の取得 101百万円

配当金の支払額 118百万円

平成21年11月期 決算概要

平成22年11月期 計画

計画 / 研究開発型外食事業

Plan

1 玄品ふぐ / 前期までの状況

2008年9月以降の景気悪化により、既存店売上高が大幅に低下

繁忙期は企業忘年会のキャンセル等の影響で
前年実績を下回った

既存店前年比は 15.4%と計画から下ブレ

平成21年1月にTVコマーシャルの影響により、
売上は回復したが、再度下降傾向

コスト削減の対応遅れ

既存店の業績回復と
コストダウン施策が必要

2 玄品ふぐ / 今期の施策

その1 . 顧客の囲い込み

小型店の場合、
200名の常連顧客により
店舗は十分な収益性を
確保できる

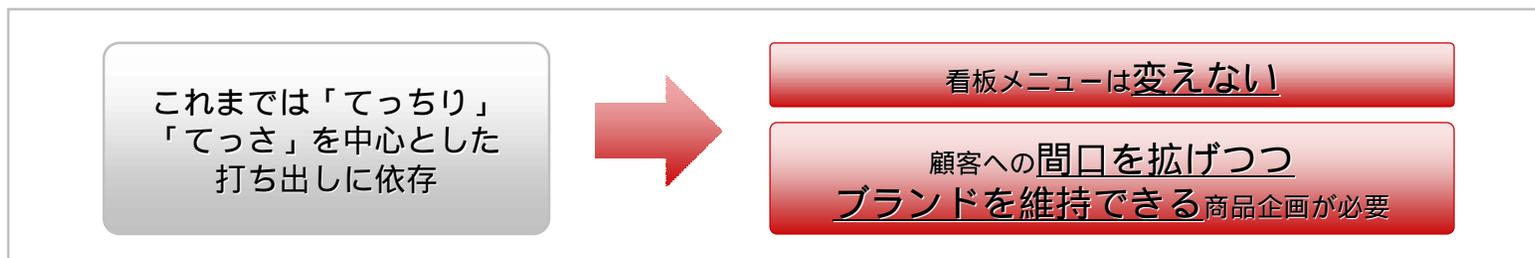
玄品ふぐは高単価業態
であることから、
顧客の囲い込み
を徹底

6月～12月で
常連顧客名簿
約10,000人を達成

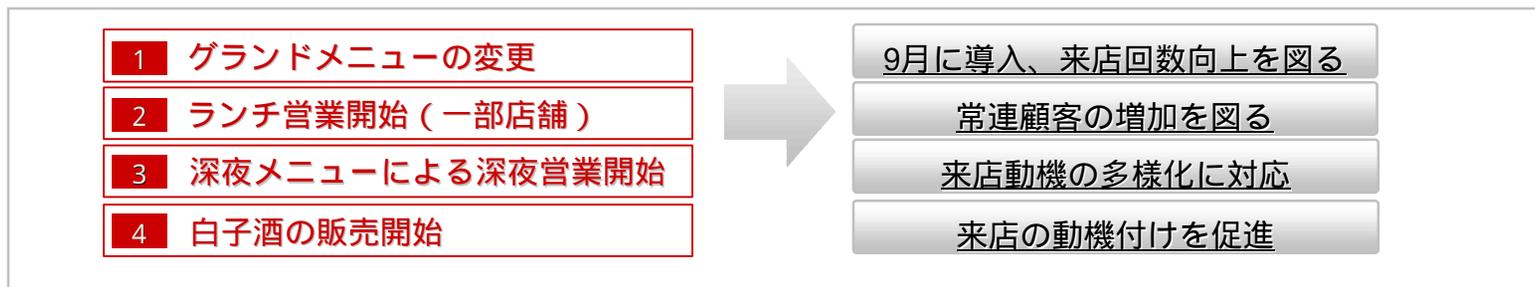
計画 / 研究開発型外食事業

Plan

その2 . 新メニュー・新商品の投入



前期施策



今期も新メニュー投入により新規顧客の獲得

計画 / 研究開発型外食事業

Plan

その3 . コスト削減の徹底

- ・ 広告宣伝費51百万、人件費89百万円削減の計画

3 玄品ふぐ / 今期の出店

新規出店



第4四半期に4店舗を計画

4 すし兵衛

調達力を活かしたコスト削減完了
(原価率39.1% 36.6%へ)



商品力の向上へ

営業力の低下



社員のモチベーション向上

人件費の超過



人件費の変動費化の推進

5 その他の業態

時代の流れに合わせたメニュー提案



売上向上

不採算店舗の業態転換を推進



収益性向上

計画 / 総菜宅配事業・その他の事業

Plan

1 総菜宅配事業

月額50百万円のコストダウンを達成



前期第2四半期より
黒字化を実現

新規顧客の開拓
会員以外へのEコマース・通販開始



経営資源を活用した
商品企画・メディア戦略

2 その他の事業

調達力を活かした食品販売を試験的に開始

黒門市場への出店

平成22年11月期計画 / 連結

Plan

(単位：百万円)

	平成21年11月期（実績）		平成22年11月期（計画）			
	金額	百分比	金額	百分比	増減	前年比
売上高	10,816	100.0%	10,000	100.0%	816	7.5%
研究開発型外食事業	6,771	62.6%	6,200	62.0%	571	8.4%
総菜宅配事業	3,639	33.6%	3,450	34.5%	189	5.2%
その他の事業	405	3.8%	350	3.5%	55	13.7%
売上原価	4,387	40.6%	3,920	39.2%	467	10.6%
売上総利益	6,429	59.4%	6,080	60.8%	349	5.4%
販売費及び一般管理費	6,299	58.2%	5,750	57.5%	549	8.7%
営業利益	130	1.2%	330	3.3%	199	+153.6%
営業外収益	32	0.3%	15	0.2%	17	53.4%
営業外費用	112	1.0%	120	1.2%	7	+6.6%
経常利益	49	0.5%	225	2.3%	175	+351.9%
特別損益	110	1.0%	100	1.0%	10	-
税金等調整前当期純損益	60	0.6%	125	1.3%	185	-
法人税等	90	0.8%	75	0.8%	15	17.4%
当期純損益	151	1.4%	50	0.5%	201	-

1 連結売上高7.5%減少

研究開発型外食事業は、既存店売上高の減少により8.4%減収の計画
 総菜宅配事業は、前期の顧客減少により5.2%減収の計画
 その他の事業は、しまや酒店の酒販事業の事業譲渡により減収

2 売上総利益率は1.4ポイント改善

しまや酒店の業務用酒販事業から撤退したため

3 販売費及び一般管理費は549百万円減少

研究開発型外食事業の広告宣伝費と人件費のコストダウンと一部店舗の売却、総菜宅配事業の事業統合によるコストダウン、しまや酒店の事業譲渡により減少

4 営業利益は153.6%増加 経常利益は351.9%増加

営業利益、経常利益は、コストダウンにより増加

5 特別損益は、店舗閉鎖、減損損失等の特別損失を見込み、当期純利益は50百万円の黒字化の計画

計画 / セグメント

Plan

(単位：百万円)

	平成21年11月期 (実績)		平成22年11月期 (計画)		前年増減		前年対比	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
研究開発型外食事業	6,771	529	6,200	680	571	150	8.4%	+ 28.5%
玄品ふぐ	4,796	538	4,400	660	396	121	8.3%	+ 22.6%
その他業態	1,974	8	1,800	20	174	28	8.9%	
総菜宅配事業	3,639	3	3,450	70	189	73	5.2%	
その他の事業	405	23	350	30	55	6	13.7%	+ 28.1%
合 計	10,816	549	10,000	780	816	230	7.5%	+ 42.0%
全社共通費用	—	419	—	450	—	30	—	+ 7.4%
連 結	10,816	130	10,000	330	816	199	7.5%	+ 153.6%

1 研究開発型外食事業

玄品ふぐ

売上高は既存店前年比 5.1%で計画、
コストダウンにより増益見込み

その他の業態

業態のブラッシュアップ及び、だいもんのコスト
ダウンにより黒字化

2 総菜宅配事業

前期の事業統合によるコストダウンの効果
により黒字化

3 その他の事業

黒門市場への出店、食品販売の開始により増益
見込み